

平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月10日

上場取引所 大

上場会社名 シンワアートオークション株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-3520-0066

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (株主・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	492	△51.1	△0	—	3	△97.5	0	△99.8
24年5月期第2四半期	1,008	81.9	128	123.4	125	128.6	125	165.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	5.21	5.15
24年5月期第2四半期	2,274.68	2,211.97

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
25年5月期第2四半期	1,623		1,237		75.8	24,697.11		
24年5月期	1,704		1,395		81.6	25,126.54		

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 1,230百万円 24年5月期 1,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	450.00	450.00
25年5月期	—	0.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	450.00	450.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,223	△10.0	85	89.0	84	47.2	83	8.2	1,626.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料のP. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	58,429 株	24年5月期	58,429 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	8,598 株	24年5月期	3,098 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	52,505 株	24年5月期2Q	55,024 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
・当社は、平成24年8月28日の取締役会において、自己株式の取得にかかる事項について決議いたしましたので「平成25年5月期の業績予想」における1株当たり当期純利益は、当該自己株式取得の影響を考慮しております。なお、自己株式の取得の詳細につきましては、添付資料8ページの「(5)株主資本に著しい変動があった場合の注記」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災後の復興需要を背景に緩やかな回復基調にありましたが、欧州の財政不安や円高の長期化に加え、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化等のリスク要因を内包する状況で推移し、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境のもと、当社は引き続き徹底したコスト管理のもとに高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めてまいりましたが、当第2四半期累計期間においても、主力の近代美術オークションでの取扱高の減少に加え、前年同期間に戦略的に行ったプライベートセール及びその他事業の実績との比較で、取扱高、売上高、商品売上高ともに前年同期間を引き続き下回ることとなり、取扱高1,363,471千円(前年同期間比36.5%減)、売上高492,767千円(前年同期間比51.1%減、内商品売上高262,148千円(前年同期間比62.8%減))となりました。

利益面におきましては、経常利益3,101千円(前年同期間は125,342千円の経常利益)、四半期純利益273千円(前年同期間は125,162千円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

近代美術オークション部門の取扱高は599,570千円(前年同期間比29.2%減)、売上高は129,326千円(前年同期間比32.8%減、内商品売上高15,838千円(前年同期間比59.0%減))となりました。落札単価及び落札率は前年同期間とほぼ水準で推移しましたが、出品点数の減少により、取扱高、売上高が減少しました。

近代陶芸オークション部門の取扱高は150,915千円(前年同期間比60.8%増)、売上高は32,301千円(前年同期間比32.3%増、内商品売上高は895千円(前年同期間比71.3%減))となりました。当期間は、本年3月に取り扱いを開始した古美術を9月開催オークションにおいても継続して取り扱ったこともあり、出品点数、落札単価ともに前年同期間に比べて増加し、取扱高、売上高が増加いたしました。

近代美術Part IIオークション部門の取扱高は111,925千円(前年同期間比24.6%減)、売上高は33,834千円(前年同期間比6.5%減、内商品売上高7,600千円(前年同期間は688千円))となりました。出品点数は前年同期間に比べて増加いたしましたが、落札単価、落札率の減少により、取扱高、売上高が減少しました。

その他オークション部門の取扱高は216,087千円(前年同期間比38.6%減)、売上高は52,057千円(前年同期間比58.0%減、内商品売上高6,233千円(前年同期間比88.5%減))となりました。当期間はBags/Jewellery&Watchesオークション2回、西洋美術オークション1回、ワインオークション1回を開催いたしましたが、前年同期間に開催した長谷川利行コレクション及び浮世絵オークションの開催がなかったため出品点数が減少し、さらに落札単価の減少と前年同期間に開催した西洋美術オークションにおける在庫商品の売上高との比較で取扱高、売上高が減少しております。

プライベートセールにおきましては、取扱高は229,243千円(前年同期間比52.1%減)、売上高は218,116千円(前年同期間比51.7%減、内商品売上高218,041千円(前年同期間比51.6%減))となりました。前年同期間は、東日本大震災の影響による美術品流通の停滞を予測し、特にプライベートセールを戦略的に強化いたしましたので、その影響により、取扱高、売上高ともに引き続き前年同期間値を下まわる状況にあります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,515,580千円となり、前事業年度末に比べ136,270千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少57,112千円、前渡金の減少52,899千円と商品の減少36,195千円によるものであります。固定資産は107,911千円となり、前事業年度末に比べ55,157千円の増加となりました。これは主に投資その他の資産のその他の増加55,334千円によるものであります。

この結果、総資産は1,623,492千円となり、前事業年度末に比べ81,112千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は357,635千円となり、前事業年度末に比べ77,682千円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加100,000千円とオークション未払金の増加25,758千円、役員賞与引当金の減少10,564千円とその他の流動負債の減少42,968千円によるものであります。固定負債は28,300千円となり、前事業年度末に比べ1,100千円の減少となりました。これは退職給付引当金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は385,935千円となり、前事業年度末に比べ76,582千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,237,556千円となり、前事業年度末に比べ157,695千円減少いたしました。これは主に自己株式の増加による減少134,970千円と剰余金の配当による減少24,898千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.8%（前事業年度末は81.6%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期の業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、平成24年7月11日に公表いたしました数値に現時点で変更はございません。なお、1株当たり当期純利益につきましては、平成24年8月28日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得の影響を考慮し1,626円13銭といたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う、営業損失、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	977,832	920,719
売掛金	—	534
オークション未収入金	80,974	75,056
商品	240,189	203,993
前渡金	272,775	219,876
その他	80,205	95,520
貸倒引当金	△126	△121
流動資産合計	1,651,851	1,515,580
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,942	9,179
車両運搬具(純額)	344	288
工具、器具及び備品(純額)	1,701	2,359
有形固定資産合計	11,988	11,827
投資その他の資産		
その他	55,083	110,418
貸倒引当金	△14,317	△14,334
投資その他の資産合計	40,765	96,083
固定資産合計	52,753	107,911
資産合計	1,704,605	1,623,492
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,304	8,425
オークション未払金	160,016	185,774
短期借入金	—	100,000
未払法人税等	3,315	2,540
賞与引当金	13,495	12,605
役員賞与引当金	16,423	5,859
その他	85,398	42,430
流動負債合計	279,952	357,635
固定負債		
退職給付引当金	29,400	28,300
固定負債合計	29,400	28,300
負債合計	309,352	385,935

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,155	785,155
資本剰余金	389,905	389,905
利益剰余金	303,072	278,447
自己株式	△87,856	△222,826
株主資本合計	1,390,276	1,230,681
新株予約権	4,975	6,875
純資産合計	1,395,252	1,237,556
負債純資産合計	1,704,605	1,623,492

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	1,008,311	492,767
売上原価	541,330	210,146
売上総利益	466,980	282,621
販売費及び一般管理費	338,781	283,368
営業利益又は営業損失(△)	128,198	△746
営業外収益		
受取利息	112	105
為替差益	—	1,835
受取保険金	1,474	—
受取査定報酬	—	2,009
その他	264	128
営業外収益合計	1,852	4,078
営業外費用		
支払利息	901	230
為替差損	3,711	—
その他	95	—
営業外費用合計	4,708	230
経常利益	125,342	3,101
特別利益		
未払配当金戻入益	500	—
特別利益合計	500	—
税引前四半期純利益	125,842	3,101
法人税、住民税及び事業税	680	680
法人税等調整額	—	2,148
法人税等合計	680	2,828
四半期純利益	125,162	273

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	125,842	3,101
減価償却費	5,240	1,567
貸倒引当金の増減額(△は減少)	56	11
賞与引当金の増減額(△は減少)	△678	△890
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,196	△10,564
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,400	△1,100
受取利息及び受取配当金	△112	△105
支払利息	901	230
為替差損益(△は益)	3,631	△1,820
売上債権の増減額(△は増加)	△4,080	△534
オークション未収入金の増減額(△は増加)	△87,888	5,918
たな卸資産の増減額(△は増加)	436,806	36,195
前渡金の増減額(△は増加)	198,791	12,899
仕入債務の増減額(△は減少)	1,590	7,121
オークション未払金の増減額(△は減少)	165,162	25,758
未払又は未収消費税等の増減額	33,000	△35,113
その他	73,024	△38,313
小計	949,493	4,363
利息及び配当金の受取額	215	125
利息の支払額	△265	△230
法人税等の支払額	△1,360	△1,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	948,084	2,898
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,406
定期預金の預入による支出	△275,000	△275,000
定期預金の払戻による収入	145,000	245,000
差入保証金の差入による支出	△1,129	△3,000
差入保証金の回収による収入	339	2,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,789	△32,199
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△440,000	100,000
株式の発行による収入	7,525	—
自己株式の取得による支出	—	△134,970
配当金の支払額	△23,888	△24,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△456,363	△59,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,631	1,820
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	357,299	△87,112
現金及び現金同等物の期首残高	213,872	632,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	571,172	545,719

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、平成24年8月29日に当該取得を実施しております。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が134,970千円増加し、当第2四半期会計期間末における自己株式は222,826千円となっております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社は、主に美術品を対象としたオークション運営事業を行っており、生産実績の記載はしていません。

②受注実績

当社は、受注生産を行っておりませんので、受注実績の記載はしていません。

③販売実績

	当第2四半期累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)							
	取扱高 (千円)	前年同 四半期比 (%)	売上高 (千円)	前年同四半 期比 (%)	オークショ ン開催数 (回)	オークショ ン出品数 (点)	オークショ ン落札数 (件)	落札率 (%)
近代美術オークション	599,570	△29.2	129,326	△32.8	3	271	238	87.8
近代陶芸オークション	150,915	60.8	32,301	32.3	2	498	460	92.4
近代美術Part II オークション	111,925	△24.6	33,834	△6.5	3	835	765	91.6
その他オークション (注) 1	216,087	△38.6	52,057	△58.0	4	1,419	1,182	83.3
オークション事業合計	1,078,497	△25.2	247,519	△34.4	12	3,023	2,645	87.5
プライベートセール	229,243	△52.1	218,116	△51.7				
その他	55,730	△75.5	27,131	△84.9				
その他事業合計	284,974	△59.6	245,248	△61.1				
合計	1,363,471	△36.5	492,767	△51.1				

(注) 1. その他オークションの開催については、募集の状況により随時開催しております。当第2四半期累計期間(平成24年6月1日～平成24年11月30日)は、Bags/Jewellery&Watchesオークション2回、西洋美術オークション1回、ワインオークション1回を開催しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期会計期間別の業績には季節的変動があります。